

トピックス

FUJITSUアルカリ乾電池「Premium S」発売

当社は、FUJITSUアルカリ乾電池「Premium S」(単1形～単4形)を2019年9月に発売いたしました。

従来から乾電池にはどんな機器にも長時間使用でき、液漏れしにくい設計による高い信頼性が求められております。さらに自然災害が多発している近年においては、防災意識も非常に高まっており、乾電池においても備蓄品としての最適な性能を求められるようになってきました。

そこで当社は、お客様のご要望のなかでも「電池の使用時間を長くしてほしい」、「電池を長期間保存したい」、「液漏れしてほしくない」といった上位のお声に応えるべく、長持ち性能、長期保存性能、耐漏液性能を徹底的に磨き上げました。

「Premium S」は、小電流から大電流まで幅広いレンジで高い放電性能を発揮する従来の「Premium」に改良を重ね、高いパフォーマンスと高い信頼性を追求したアルカリ乾電池です。新負極ゲル組成を採用することで、小電流から中・大電流まで幅広い電流域の放電性能が約10%向上しました。また、新負極ゲル組成と「Premium」で採用した正極缶内側のレアメタルコートとの相乗効果により長期保存後の放電特性も約10%向上しました。さらに、集電子に新メッキを採用することにより、過放電時のガス発生量を大幅に削減し、液漏れしにくい安全設計を実現しました。

当社は今後も厳格な日本の品質管理にもとづき、お客様に安全・安心をお届けする方針のもと、信頼性を追求した新技術の開発に努め、皆様に愛される商品を提供し続けてまいります。



FUJITSUアルカリ乾電池「Premium S」

4月

5月

6月

7月

8月

9月

FDKグループ戦略Framework「10年の計」および中期事業計画「R1」を策定

当社グループは、これまで電池事業と電子事業のシナジーを活かした製品をインダストリアル市場とコンシューマ市場への提供を通じてプレゼンスの向上を図ってまいりました。差別化開発においては、SMD対応小型全固体電池の高エネルギー密度の正極材料開発やサンプル仕様の確立、広温度・高出力・長寿命特性をもつ各種電池や小型・高密度特性のモジュール開発に努めてまいりました。また、成長市場への拡販においては、車載・メータ・セキュリティなどのインダストリアル市場で新規・深耕開拓で一定の成果を得てまいりました。

このような状況のなか、当社グループの更なる経営体質強化と企業価値の向上を図るため、当社グループの経営Visionのブラッシュアップを行ない、10年後のあるべき姿として「10年の計」と、このあるべき姿の実現に向けた最初の3年間(2020年～2022年度)の中期事業計画「R1」を策定いたしました。

「FDKグループは、Smart Energy Partnerとして、先進技術を結集し、お客様に電気エネルギーを安心して効率的に活用いただき、持続可能な社会の実現と発展に貢献します」という新たな当社グループの経営Visionのもと、2022年度までに現行ビジネスの安定化と利益ある成長を確立、次世代へつながる新事業を積極的に開拓し、各自が自律的にお客様に満足いただける努力を怠らない企業文化の醸成に努め、中期事業計画「R1」の最終年度である2022年度に連結売上高600億円、営業利益率5.1%の達成を目指してまいります。



FDK

2019年10月

「10年の計」および「R1」